

新日本ウエックス(株)

代表取締役社長

廣瀬 純平氏

JUNPEI HIROSE

2025年は、24年の鹿児島ウエックス(株)設立に続き、全国で24番目の自社工場となる福岡工場(FJウエックス)を3月に福岡地所(株)との合併で竣工しました。同工場は、九州最大級の最新鋭工場として、最新設備とスマート技術を融合し、従来の生産効率や品質管理を大きく進化させ、お客さまにより迅速で安定したサービス提供が可能となりました。さらに本竣工により、品質・供給・雇用のすべてが九州エリアで完結する自社一貫生産体制も確立できました。加えて、名古屋本社を栄に移転し、思いを新たに多方面での挑戦に取り組んだ一年でもあります。

その中で福岡工場は、これまで弊社が培ってきた知見を活かし、最先端設備とスマート技術を融合した次世代に継ぐ“未来工場”となるよう造り上げた取り組みです。例えば、稼働率の最適化やエラーの最速検知を可能とするスマート生産管理システムを導入することで、働く人に優しく、かつ品質の保持・向上と安定供給を実現させています。

また従来の検査機器では検出が困難だったリネン製品の薄いシミやシワ、汚れをAIによって自動的に検出する新システムを開発しました。昨年12月から一部工場で稼働を始め、本年は順次、全国の工場に導入

知見と技術で実現したスマート工場で切り開く、次世代型リネンサプライの未来



していく予定です。

さらに、弊社が業界初としてこれまで5ツ星ホテルに限定してつけていたシーツやタオル類のICタグを全商品に導入することで、より正確な管理体制を実現してまいります。

もちろん、いまだ改善や検証すべき点はありますが、稼働率の最適化、エラーの早期検知を可能にする仕組みやAMR(自動搬送)の導入など、より安心してご利用いただける管理体制を整えられたと思います。

本年もこれまで同様に、リネン

サプライヤーとして、ホテルやレストランの皆さまが抱えるさまざまな課題にお応えできるよう、“キレイを、確実に”の経営理念を大切に、クリエイティブな挑戦と探求を続けてまいります。

さらに全社総力をあげ、AI解析などの先端技術を活用し、“次世代型工場”的可能性と先進性を高め、お客さまにとってより使い勝手がよく、信頼性の高いサービス提供を可能にする進化と革新に取り組んでまいります。